



普及センター

もいおか



インターネットでオールカラーの記事が読めるよ!

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもいおか

検索

第127号平成25年1月1日発行
盛岡農業改良普及センター
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎
TEL 019-629-6730 FAX 019-629-6739



謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は、普及センターが実施しました農業普及事業に多大なるご支援を頂き、心より厚く感謝申し上げます。

さて、昨年は爆弾低気圧、領土問題、原発問題、猛暑・少雨など、激動の一年でありました。特に、農業者の皆様におきましては、お盆以降も続いた高温・乾燥により農産物の収量・単価が伸び悩み、多大なるご苦勞をされたことと思います。加えて、政権交代に伴い、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への対応にも多少の変化が見られるとは思われますが、依然として農業を取り巻く

環境は厳しい状況にあります。しかし、危機をビジネスチャンスとして捉え、新たな農業参入や、6次産業化による経営革新の推進が図られていることも事実であります。

普及センターではこのような農業情勢を踏まえ、より一層、振興局農政部、市町村および農業団体と連携し、「Ⅰ. 経営体質の強い担い手の確保育成」、「Ⅱ. 競争力に優れる産地の育成」の2つを主要課題として掲げ、地域協働のもと職員一丸となって取り組む所存でございますので、本年も皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方の益々のご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

所長 工藤 英夫



志和の水稻種子の乾燥調製施設が新しくなります!

みなさんは毎年購入されている水稻の種子がどのように生産されているかご存知ですか?水稻の種子は、岩手県農業研究センターで品種ごとに原種が生産され、その原種を県内各地の採種圃で増殖し、一般の生産者へ販売されます。

盛岡管内の紫波町には「うるち米」と「もち米」の2つの採種圃がありますが、採種圃を担当している生産者のみなさんは、異品種が混入していないか、雑草害はないか、病害虫の被害にあっていないかなど、細心の注意を払って種子の生産に取り組んでいます。

普及センターでは、関係機関とともに種子生産全般について気象状況を加味した指導や支援を行い、各圃場の管理状況や、生産された種子の発芽能力について審査を行っています。

今回、志和水稻種子の乾燥調製施設が新しく整備されることとなり、起工式が12月6日に行われました。次年度からは、新しい施設で調製された、より一層良質な水稻種子を農家の皆さんにお届けできるよう、普及センターでは、生産者と連携して、これまで以上に気を引き締めて、種子生産に臨みたいと考えています。



第1回

「農業」の「改良」
って？編

『普及センター』って どんなところ？

「…で、普及センターって何するところなの？」そんな声がたまに(よく?)聞こえてきます。普及指導員は「農業改良助長法」という法律に基づいて、県に置かれることとなっていますが、「普及員さん、指導会でたまに見るだけで普段何してるかわかんないや」という方にも、「全くどんな職業なのか分からない」という方にも、私たち普及センターが何しているか知ってもらいたい！
ということで！『普及センターが普段どんなことをしているのか』などについて、全4回に分けてお伝えします！

「農業改良普及センター」ってどんな仕事をするところなの？

簡単に言うと、
「農業経営や農家の生活の改善について、農業者に直接提案する仕事」をしています！

うーん、いまいちピン！とこないわね…
例えば、どんなことをするの？

「農産物の生産技術指導や新技術の情報提供」が一番分かりやすいですかね？
その他にも、経営計画や管理の仕方についてアドバイスしたり、農業セミナーの開催、農業後継者の育成や、女性の起業活動などの支援もしているんです。

へー！女性の起業のお手伝いも！
「農業生産」に直接関係するところしか関与しないのだと思っていたわ。私もみそ、漬物とか、農産加工の起業に挑戦してみようかしら。。。

盛岡農業改良普及センターは大きく分けて3つのチームがあります。次回は起業担当が所属する「経営体育成チーム」についてご紹介しますね！

続く…